

## ふゆやす 冬休み！ にほんぶんか 日本文化にふれる さいこう 最高の きかい 機会！

いよいよ明日から冬休みとなります。冬休みの宿題もぜひ計画的に！自分の学びのスタイルに合わせた進め方で取り組んでみてくださいね。（コツコツ毎日派、前半にまとめて派、旅行の予定なども考慮して前半、後半に分けて派など）

学習はもちろんですが、この期間だからこそ触れられる文化的なよさもぜひ味わってほしいですね。6年生の学習で「鳥獣戯画を読む」という教材を学習しました。教材から表現の工夫や資料の効果、構成の工夫を学習し「発見、日本文化のまりよく」で日本文化のよさを伝えるリーフレットを作成しました。ここで少し紹介させてください！そして今年の冬休み少し意識してもらえると嬉しいですね♪

さらに、お正月に食べるお雑煮は地域によって多様なお正月の食べ物だ。例えば京都府は、白みそベースのお雑煮だ。丸餅を使い、京人参や里芋、大根などを具に入れる。しかし、地域によっては小豆や海鮮を入れたりもする。このように、お正月は楽しむことはもちろん、これからの日々が充実していけるように願うという行事でもあるといえる。



日本には、お正月という他国に自慢できる行事がある。お正月はみんなで集まって楽しく過ごしたり、お年玉をもらったりすることがよく知られている。しかし、私が一番伝えたい魅力は別にある。おせち料理はお正月ならではのものだ。例えば、エビは長生きできるように、栗きんとんは金運をもたらすようにという願いが込められている。他にも豊かさや幸せ、健康や豊作など様々な願いが込められているのだ。



また、3年生では年賀状をお家の方に向けて書く姿も見られました。2026年の干支は「馬」ということで、みんな一生懸命馬の絵を書いていましたよ。タブレットで馬を検索している児童もいました。馬の体の特徴を捉えて描くことはまた難しいですね。とても一生懸命描いていたので、ぜひ親子で年賀状を楽しんでください。



さらに12月22日（月）！そう本日は「冬至」です！「冬至」は一年の中で昼の時間が一番短くなる日で、夜の時間が最も長くなります。この日は「かぼちゃ」を食べることで有名ですね。給食でもかぼちゃのてんぷらがでましたね。さて、なぜ「かぼちゃ」なのでしょうか…かぼちゃは夏に収穫してから長期保存できる食材で、



冬でも栄養をとることのできる貴重な食材だったそうですよ。また、「ん」のつく食材を「運盛り」といって食べる風習もあるようです。

（れんこん・なんきん（かぼちゃ）・にんじん・だいこん・うどんなど）さらに、「柚子湯に入る」これも有名ですね。柚子は強い香りを放つことから「邪気払い」「厄除け」の効果があると信じられていたようです。冬至の日に柚子湯に入って体をしっかり温め、家族の健康を保ちたいですね。ぜひ今日は「ん」のつく食べ物を食べたり柚子湯で体を温めたりして、楽しい冬休みを過ごしましょう！



銀閣寺



書院造

和室は、世界にはない日本独自の文化である。日本の家には、洋室でできた家も増えてきているが、そんな家にも一部屋か二部屋くらいは和室でできていることが多い。しかし、なぜそこまで和室が人気なのか、知らない人も多いのではない。和室の魅力は昔の人の工夫があることだ。室町時代、書院造という家の作りがよくあった。この書院造は、和室とともによく似ているのだ。実際、室町時代につくられた「銀閣寺」は現在の和室とほとんど変わらない。つまり、和室は歴史が深いのだ。

和室の工夫はリラックス効果があるということがある。和室の畳に使われている「い草」にはリラックス効果があることが、科学的に分かっています。それに季節にあった部屋なので、夏は涼しく、冬は暖かいので、いつでも快適に過ごせます。

他に、いろいろな部屋にする事ができます。例えば、子供部屋や寝室などの普段使う部屋にすることもできるし、来客用の部屋などの特別な部屋にする事ができます。

このように、和室にはたくさんの工夫がある。それ뿐만、昔の人の思いによってつくられたものである。なので、時には和室でくつろいでみてください。